

(様式1)

## 平成17年度 事務事業評価表

記入年月日	平成17年4月28日		記入者		内線	3257
部 名	土木部	課 名	道路整備課	課長名	神保政雄	
事務事業名	都市計画道路下九沢淵野辺線道路改良事業					
予算上の事務事業名	都市計画道路下九沢淵野辺線道路改良事業					
1 総合計画における位置づけ			施策コード	32120		
基本目標	「躍動し 魅力あふれる交流拠点都市」をめざして					
政 策 名	第2章 質の高い都市基盤の整備を進めます					
基本施策名	第1節 骨格幹線道路網の整備				事業開始年度	
施 策 名	第2施策 市内幹線道路の整備				平成10年度	▼
2 実施根拠及び関連法令・条例等	都市計画法、道路法					
3 個別計画の概要			概要			
計画名	道路整備10カ年計画 後期継続		淵野辺駅周辺のネットワークを図る幹線道路として整備を行うとともに、歩道の整備を行い交通安全の向上を図るもの。			
計画年次	10	年度～	18	年度		
4 事業形態の区分	建築・整備・重要物品購入 ▼					
5 事業概要	(1) 事業の目的(何のために行うのかまたはもたらしたい成果)					
(1) 事業の目的(何のために行うのかまたはもたらしたい成果)				(2) 対象(誰、何)		
淵野辺駅周辺のネットワークを図る幹線道路として整備を行うとともに、周辺には、小、中学校があり、歩行者と自転車が混在し危険な状況であるため、歩道整備等を行い交通安全の向上を図る。				歩行者、自転車、自動車等		
(3) 平成16年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。						
道路延長 5,220.0m 計画幅員 11.0m～18.0m(両歩道2.0m～3.5m) 現況幅員 8.0m～18.0m (両歩道2.0m～3.5m)						
平成16年度 整備延長 30.0m						
6 関連・類似事業や他市の状況						
7 事業費の推移	[単位：千円]					
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)	
事業費	0	31,045	19,740	14,000	8,900	
一般財源	0	14,195	16,090	11,525	5,980	
受益者負担金	0	0	0	0	0	
その他の特定財源	0	16,850	3,650	2,475	2,920	
人件費の合計	0	2,403	2,421	2,421	2,421	
事業コスト合計(a)	0	33,448	22,161	16,421	11,321	
8 事業効率・・・(複数の事業で構成されている場合は、その中の主たる事業)						
主たる事業名	都市計画道路下九沢淵野辺線道路改良事業			対象名称(単位)	整備延長(m)	
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)	
事業コスト(主たる事業)	0	33,448	22,161	16,421	11,321	
対象数	0	106	30	23	31	
単位あたり経費(円)		315,547	738,700	713,957	365,194	
前年度比			2.34	0.97	0.51	

9 活動指標・・・実施した内容（活動）の数値化					
指標名 (単位)	道路整備率		指標式と指標の説明	整備延長 / 目標整備延長 * 100	
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)
実績	0.0	106.0	30.0		
目標	0.0	106.0	30.0	23.0	31.0
目標達成度		1.00	1.00		
10 成果指標・・・対象と意図の達成度を表す指標					
指標名 (単位)	延整備延長		指標式と指標の説明	延整備延長 / 目標延整備延長 * 100	
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)
実績	0.0	4750.0	4780.0		
目標	0.0	5220.0	5220.0	5220.0	5220.0
目標達成度		91.0	91.6		
11 個別評価					
(1) 妥当性の評価 【A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない】					
A	<input type="checkbox"/>	法令等により実施することが義務付けられている。			
	<input type="checkbox"/>	法令等に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 【A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない】					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input type="checkbox"/>	事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 【効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い】					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	単位あたりの経費は適正である。			
	<input type="checkbox"/>	これ以上コスト節減の余地がない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力の導入の可能性 【有・無】					
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。			
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。			
12 総合評価					
(1) 自動判定結果					
	[	]：良好な状態を維持する事業			
	[	]：概ね良好な状況である事業			
	[	]：見直しを行う必要がある事業			
	[	]：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業			
(2) 担当課の課長による評価（今後の方向性）			(3) 課長の評価に関する説明		
拡充・充実	<input checked="" type="checkbox"/>	拡充・充実		近隣に小中学校があり、現道で歩行者と車が混在していたが、今回、歩道を整備することにより歩車道の分離が図られ、交通の安全性が高まった。	
	<input type="checkbox"/>	現状維持			
	<input type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策 補助金を活用した中で、早期に整備を推進する。			14 課題として認識されたこと 用地取得に際し、地権者との交渉に日時を要する。		
15 二次評価					
(1) 行政評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
拡充・充実	<input checked="" type="checkbox"/>	拡充・充実			
	<input type="checkbox"/>	現状維持			
	<input type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			